

# 北ぐに



(2024年)4月8日(月)発行

## 令和6年度 担任・副担任一覧

学年	学級	学級担任	教科	副担任	教科	学級
2年	1組					
	2組					
	3組					
	4組					
	5組					
	6組					
	8組					
3年	1組					
	2組					
	3組					
	4組					
	5組					
	6組					
	8組					

校長： 教頭： 主幹教諭： 養護教諭：  
 栄養教諭： 事務職員：  
 校務助手： 学校司書： スクールカウンセラー：  
 ALT：  
 相談支援パートナー・学びのサポーター：



## 着任挨拶

この度、下記9名の教職員が着任いたしました。

〇〇 〇〇 主幹教諭 社会・あいの里東中より

あいの里東中学校から参りました〇〇 〇〇です。明るい校舎と、元気よく挨拶をしてくれる生徒が印象的な栄中学校の一員として、どうぞよろしくお願い致します。

〇〇 〇〇 教諭 音楽・義務教育学校福移学園より

同じ東区の義務教育学校福移学園から来ました。〇〇 〇〇です。これからみなさんと過ごせることをとても嬉しく思っています。たくさん楽しい思い出を作りたいです！1年間よろしくお願いします。

〇〇 〇〇 教諭 数学・新琴似北中より

北区の新琴似北中学校から参りました〇〇 〇〇と申します。みなさんと数学の勉強や行事など、たくさんのごことで関わっていきたくと今からワクワクしています。どうぞよろしくお願いします。

〇〇 〇〇 教諭 英語・澄川中より

南区の澄川中学校から参りました、〇〇 〇〇と申します。活気あふれる栄中学校でみなさんと一緒に過ごす時間を、今から楽しみにしています。様々な場面に関わることができたらうれしいです。どうぞよろしくお願い致します。

〇〇 〇〇 教諭 理科・北野台中より

清田区に北野台中学校から参りました、〇〇 〇〇と申します。ご縁があって、この度栄中学校に赴任することになりました。授業や行事等でみなさんと有意義な時間を過ごせることをとても楽しみにしています。よろしくお願いします。

〇〇 〇〇 教諭 特別支援

平岸中学校のぞみ分校より  
豊平区から参りました〇〇 〇〇と申します。着任時から部活動生徒の元気な挨拶あふれる雰囲気温かさを感じております。春からどうぞよろしくお願いします。

## 〇〇 〇〇 マネジメント支援員

かつて務めていた栄中学校に再び勤務することになり、懐かしさとともに素敵な新校舎に驚いています。主に職員室内での業務になりますが、生徒の皆さんの活動する姿を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

## 〇〇 〇〇 学校司書 光陽中より

北区光陽中学校から参りました〇〇 〇〇です。栄中学校の図書館は活気があると引き継ぎました。とても楽しみにしています。これからよろしくお願いいたします。

## 始業式・校長講話

小さな目標を積み重ねて大きな目標へ

校長 〇〇 〇〇

全国各地で桜の便りが聞こえてきました。札幌の桜の開花はもう少し先ですが、4月になって、春らしい日が続いています。

新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。短い春休みでしたが、ゆっくりと自分を見つめることはできましたか？

新しい年、令和6年度のスタートです。クラス替えがあって、新しい環境の中で学習や生活をしていきます。新しい担任や教科担任の先生と早く慣れ、新しい学級の友達とも仲良くして充実した一年間を過ごすための礎を築けることを期待しています。

3年生は最高学年として、これまでのさまざまな経験を通して蓄えてきた力を十分発揮してほしいと思います。また、自分の進路を決定する大切な一年でもあります。2年生は中堅学年として、栄中の歴史や伝統を受け継いで学校を支える立場になっていきます。

来年の3月に、皆さんが「本当に良い1年だった」と心から言える、充実した1年にしてほしいと願っています。

皆さんは、宇宙開発ベンチャー企業「スペースワン」が小型ロケット「カイロス」初号機を、先月打ち上げたことを知っていますか？カイロスは情報収集の実証研究を行う政府の小型衛星を搭載していて、軌道への投入が成功すれば民間単独としては国内で初めてとなると注目されていました。カイロスは打ち上げられて上昇しましたがわずかに約5秒で爆発。機体の破片が落下し火災が発生しました。原因は不明ですが、飛行の中断は、搭載した自律飛行安全システムが作動したためで、飛行経路や地上の安全確保のために機体を爆破させたとみられています。

## 〇〇 〇〇 用務員 平和小より

この素晴らしい校舎と環境で学ぶ生徒達のためにきれいで安心して学べる環境整備に努めたいと思います。よろしくお願いいたします。



その後開かれた会見で、「スペースワン」の豊田社長は、「スペースワンとしては“失敗”という言葉は使わない。なぜかという、一つ一つの試みの中に新しいデータがあり、経験があり、それらは全て今後の新しい挑戦に向けての糧と考えている」と話しました。

私は、その言葉がとても心に残りました。自分たちが目指していた結果にならなかったのだから、確かに“失敗”と言えるのかもしれませんが、でも、豊田社長はそんな目先の結果だけではなく、さらに先を見ていました。最終的に目指しているゴールの途中経過としてこの出来事をとらえたのです。何かをやり遂げようとしたら、うまくいかなかったことを“失敗”ととらえず、次への目標と考えて、少しずつ積み重ねていくしかないのです。

はじめから大きな目標を決めるのもいいのですが、大きな目標を達成するためには大きな努力も必要です。もしかしたら達成できないままで終わってしまうかもしれません。それよりも、はじめは小さな目標を決めてそれを達成し、目標を少しずつ大きくしていくとよいでしょう。小さく絞った目標なら、誰でも達成することができます。

1学期が始まる今は、まず小さな目標、そしてその先にある大きな目標を立ててスタートするのに、とてもよい時期です。ぜひ、1年のよいスタートを切ってください。

明日には197名の新入生が、期待と不安をもちながらも、希望に胸ふくらませて入学してきます。残念ながら入学式に参加するのは3年生と吹奏楽部だけですが、栄中の先輩として、ともに学ぶ仲間として、温かく迎えてほしいと思います。